



吉田マスコットちご鳥

公民館報

No.75
2026.6.1

よしだ

E-mail:yoshida@city.shiojiri.lg.jp

<https://www.facebook.com/yoshidakominkan/>

発行 / 吉田公民館
TEL86-8611
FAX86-8830
印刷 / (有)信陽堂印刷所



吉田公民館
フェイスブック
QRコード



道が広くなりました

「国道 19 号の塩尻北インターチェンジ北側から、えびの子水苑前を経て角前工業団地へと続く『塩尻市道広丘東通線』のうち、建部社付近の拡幅工事が行われました。

これにより、見通しが改善され、以前よりも格段に運転がしやすくなっております。また、道路両脇の歩道も広くなったことで、歩行者の皆様の安全もより確実に確保されました。車道・歩道ともに利便性は向上いたしました。引き続き安全運転と交通ルールを遵守し、十分注意して通行したいものです。

令和8年度 公民館役員紹介



吉田公民館長
おぎなさ たつと
荻無里 立人

一年間の吉田公民館活動を経験して公民館の役割と課題が分かって来ました。

皆さんの社会教育・生涯学習の拠点です。一方少子化で子どもたちの人数は減少していますが、子どもたちを取り巻く環境が変化し、学校から地域への要請もあり、公民館としても対応が必要になっていきます。具体的にはクラブ活動の地域移行や長期休みを含めた子どもたちの居場所づくりです。

「知識は力なり」と言われ、チョットした知識や経験が事故から身を守ることはよくあります。現在のSNS社会では、知人からの誘いと思っただけで対応したら、それが詐欺だったということが当たり前に起こっています。知人のアカウントを別の人が使えばそうなります。何かの役に立つ公民館講座を目指します。引き続き吉田地区の皆様のご協力をお願いします。



公民館主事
はやし
林 徹

はじめまして。

この度、吉田公民館の主事を拝命いたしました林と申します。

私は令和4年度に定年退職を迎え、令和5年度より再任用職員として勤務しております。これまでに40年間の行政経験を積んでまいりましたが、吉田公民館での勤務は今回が初めてとなります。

公民館が地域を結ぶ大切な拠点となり、より良い社会づくりに貢献できるよう一杯尽力してまいります。

地区の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



令和8年度 吉田公民館役員

吉田一区

主事 御子柴 亘
分館長 塩原 孝壽

吉田二区

主事 松田 茂
分館長 神澤 隆夫

吉田三区

主事 浦 浩一郎
分館長 酒井 学

吉田四区

主事 西川 祐介
分館長 海渡 純

吉田五区

主事 内川 光明
分館長 平松 直人

公民館運営
審議会委員

小柳津 由紀 (吉田小学校長)
赤津 守儀 (区長会代表)
山田 森 (子ども会育成連絡協議会会長)
遠藤 善久 (体育協会会長)

太田 満華 (吉田小PTA会長)
原 宏明 (民生児童委員地区会長)
増永 勝 (社会福祉協議会吉田支部長)
※敬称は省略させていただきます
任期 令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年度 吉田公民館年間計画

1 基本計画

公民館は最も身近な地域活動の拠点として、教育・文化の向上、人づくりや地域づくり等、市民の心の支え、学びの拠点として生涯学習の推進に大きな役割を果たしてきました。

しかし、社会情勢が大きく変化していく中、人口減少、少子高齢化の進行、人間関係の希薄化、貧困と格差の拡大等、様々な課題が表面化してきています。そのような課題を解決するため、世界各国では共通の目標として、持続可能でよりよい社会の実現を目指す SDGs の様々な取組がされています。

このような状況の中、公民館においては、SDGs の視点を取り入れつつ、生きがいを感じることのできる住民の繋がりを大切に、共に学びあえる機会や共生する社会の実現が重要となります。また、地域の実態に応じた学習と活動を結びつけ、誰もが気軽に訪れることのできる地域の拠点施設を目指す必要があります。そして、住民自らが担い手となるよう住民自治の意識を高めるとともに、世代を超えて住民間のつながりを深めていくことが、個人の豊かな生活の実現と、元気で明るい共生社会になると考えます。

そのため、公民館は、住民が主体的に「学ぶ」「つながる」ことのできる地域に密着した活動を目指し、社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」に努めていきます。

2 重点目標

- (1) 「人づくり」
- (2) 「つながりづくり」
- (3) 「地域づくり」



3 事業計画

【教養部】

- (1) 地域づくり学習会・地域課題について学ぶ事業の開催
- (2) 各種学級講座の開催
- (3) 文化祭の開催
- (4) 人権学習の推進



【体育部】

- (1) 地域の親睦を中心とした軽スポーツ等の推進

【青少年育成部】

- (1) 「よしだっこチャレンジ（子どもの活動拠点づくり事業）」の推進
- (2) 子育て支援、親子講座の開催
- (3) 吉田小コミュニティスクールへの積極的な支援（夏ゼミ等の公民館開放支援）
- (4) 「子どもの居場所づくり事業」の拡充・充実
- (5) 防災公園を利用した世代間交流（親子でお泊りキャンプ等）



【館報編集委員会】

- (1) 公民館報よしだ発行（年2回 カラー4ページ）
- (2) 記録の保持（よしだ体育の日・文化祭等の記録写真）
- (3) 地区センター交流スペースを活用した活動紹介コーナーの充実

令和8年度 吉田公民館年間計画

よしだ学びのカフェ

タイムリーな話題やテーマ等に沿って、楽しく学びます。講師の先生の話をお聴きだけでなく、意見交換・ワークショップ等行い、いっしょにそのテーマについて考え、学びます。

日付	行事・講座名	内容
7月18日	ロボットワークショップ	小学生ロボコン大会を目指し、自由にロボットを組み立てる講座
8月10日	サマースクール公民館 (中央公民館主催)	子どもを対象に夏の思い出づくり。様々な教室を開催し、楽しみながら学ぶ
調整中	星空観察会	夜空の観察会と事前学習
調整中	スマートフォン活用講座	スマートフォンの基礎から応用まで学び、塩尻市から提供しているアプリ操作を学ぶ講座



親子ちご鳥教室

親子で楽しめる教室を行い、その中で親子の絆づくり、また各家庭間でのつながりを作ることが目的です。

日付	行事・講座名	内容
5月23・24日	親子でお泊りキャンプ	親子で災害対策を学ぶ(年2回を予定)



よしだっこチャレンジ

よしだっこ向けのバドミントン・卓球・吉田太鼓教室等を開催予定です。

日付	行事・講座名	内容
5月14日から	バドミントン教室	第1・3木曜日(祝日はお休み)に開催
5月21日から	卓球教室	第2・4木曜日(祝日はお休み)に開催
通年	吉田太鼓	土曜日に、吉田東公民館で練習を実施



その他講座や事業など

日付	行事・講座名	内容
5月14日から	のびのび健康時間	楽しく和気あいあいと軽運動を実施、第2・4木曜日、第1・3火曜日
調整中	いきいき貯筋倶楽部(市介護保険課主催)	筋力を貯める「貯筋」を目的に運動方法を学習
6月13日	よしだ体育の日	小坂田公園を巡るウォーキング
10月25日	吉田地区文化祭	区民の方やサークル団体の芸術・学習成果を発表
秋	かがやけ健康!よしだ塾 (ヘルスアップ委員会共催)	ヘルスアップ委員会と共催で健康にまつわる教室を開催
調整中	大人の遠足	運動不足解消も兼ねて、道中の文化や自然について学びながら歩く(年4回開催予定)
調整中	吉田地区人権学習会	人権について学ぶ



この他にも、講座や教室を計画中です。新たに実施してみたい講座、公民館事業への要望等がございましたら、お気軽に連絡ください。

いずれの講座も、開催のおおむね1か月前には、チラシ配布、回覧、市ホームページ、フェイスブック等でお知らせいたします。詳細については、そちらをご覧ください。

上記は予定ですので、内容変更や中止をすることもありますのでご承知おきください。

館報編集委員

事務局長 委員 副委員長 委員長
 林 桑 新 齋 塩 上 西 海
 原 川 藤 原 條 川 渡
 弘 茂 祐
 徹 司 衛 剛 巧 貴 介 純

新型コロナウイルス類移行から3年、それ以前に地域内で中止・縮小されていた行事も元の姿を取り戻してきています。4月からは春の子どもみこし担ぎを行い、子どもたちの元気な掛け声と沿道で見守る方々の笑顔を取り戻せたことを心から嬉しく思いました。少子高齢化や行事縮小・簡略化の流れの中ですが、それでも活気と笑顔を絶やさない地域づくりを続けていきたいと願っています。そんな吉田を作るお手伝いができたなら公民館スタッフの一員として何よりの幸せです。



世帯数と人口

令和8年5月1日現在

区	世帯数	男	女	計	前年度計(人口)	増減
一区	603	627	613	1,240	1,194	46
二区	578	558	602	1,160	1,161	△1
三区	1,053	1,093	1,087	2,180	2,169	11
四区	945	1,022	947	1,969	1,988	△19
五区	1,228	1,340	1,372	2,712	2,758	△46
計	4,407	4,640	4,621	9,261	9,270	△9
市全体	29,648	32,409	32,348	64,757	65,035	△278

(資料:市役所市民課)